

〈再 録〉

木材の横圧縮変形能と鋼の引張変形能の組み合わせによる
高い初期剛性と大きな変形能を有する接合部和田 博・増田勝則・鬼木俊也¹⁾

木材工業, 61(5): 206-211 (2006)

スギ板材2枚をペアにして柱または梁の部材とし、それらの接合部に表面処理した鋼板を挿入・接着する簡易な工法を開発し、CLCS工法 (Coupled Lumber Construction with Surface-treated Steel) と呼んでいる。本工法により、柱と梁の接合部を想定して作製された試験体に、繰りかえし引張荷重による強度試験を行った結果、接合部は木材の有する高い横圧縮変形能と、鋼の有する高い引張変形能の組み合わせにより、初期剛性が高く、しかも破壊に到るまでの変形が大きいことが認められた。

キーワード: CLCS工法、表面処理鋼板、横圧縮変形能、簡易工法

¹⁾ 住友金属建材工業㈱

4 種類の方法で乾燥したスギ、ヒノキ正角材の耐朽性

寺西康浩・酒井温子・岩本頼子¹⁾

木材工業 61(6): 248-253 (2006)

高温乾燥、中温乾燥、天然乾燥および高周波・蒸気複合乾燥を施したスギ、ヒノキ正角材の心材耐朽性を調べた。室内強制腐朽試験の結果、乾燥法の違い、また材の部位の違いにより質量減少率に差が認められるものがあった。しかし、この結果を基に野外接地条件での耐用年数を推定したところ、耐用年数に大差は認められなかったため、比較的高温域の人工乾燥法を用いても、大幅な耐朽性の低下を危惧する必要はないと判断した。

キーワード: スギ、ヒノキ、耐朽性、高周波・蒸気複合乾燥、高温乾燥

¹⁾ 奈良県生活環境部環境政策課